



第 58 回

パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

2014 年 10 月



■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所が2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI 値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI 値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の4団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有効パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2014年9月22日～10月5日

◇調査方法：

調査票をFAXにて送付・回収

◇回答状況：

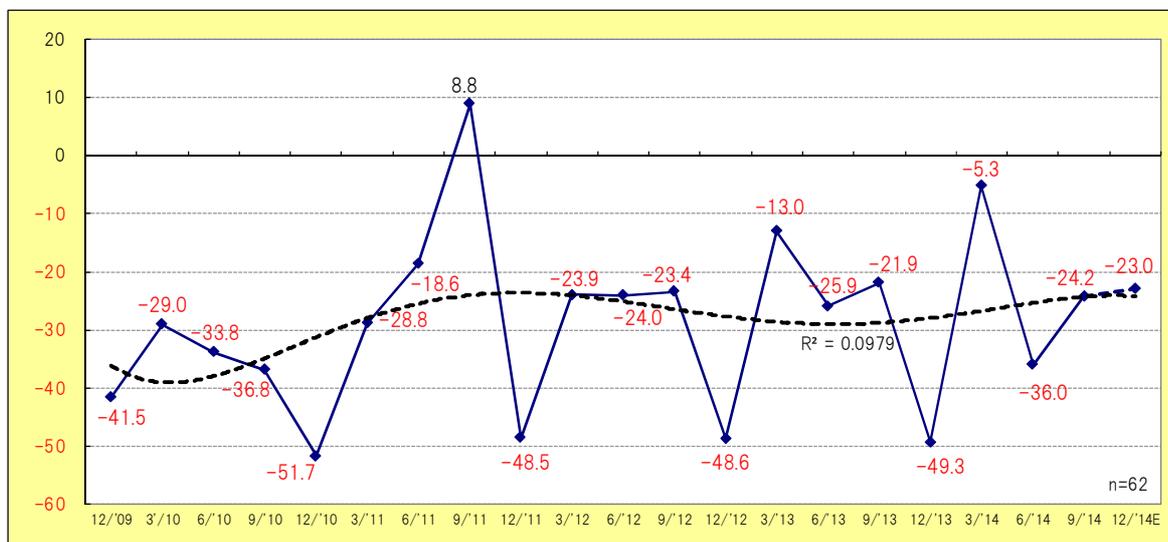
48企業、62地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査結果ダイジェスト(1)「全般的業況」

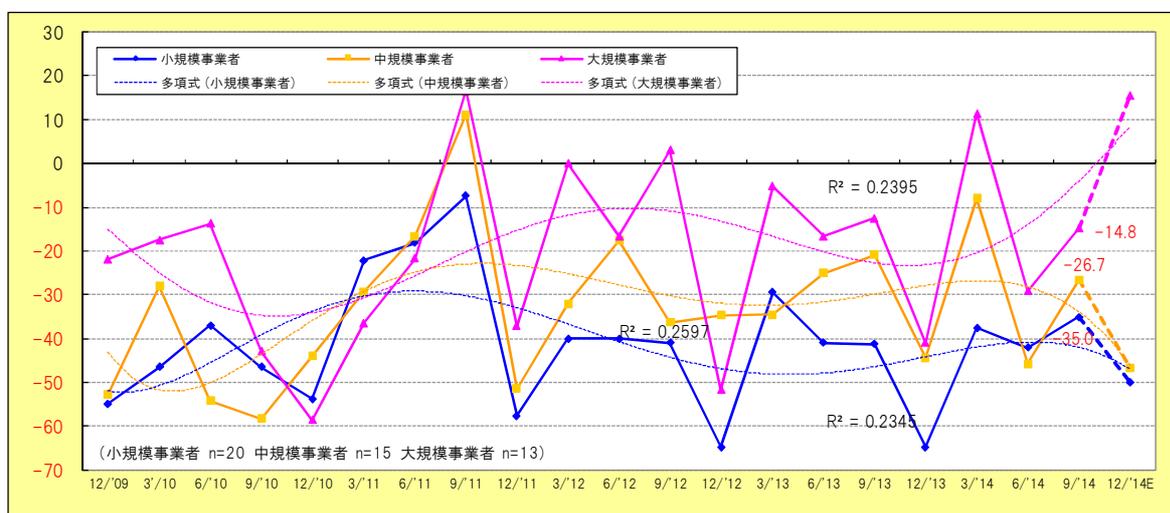
■全般的業況:業況は改善するも、マイナス推移に変化はなし

【事業者全体】



過去 1 カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲36.0 ポイントから▲24.2 ポイント(前回比 11.8 良化)まで回復しており、12 期連続でマイナス推移という結果になった。3 カ月後の見通しは▲23.0 ポイントとマイナス圏で横這い推移することが見込まれている。

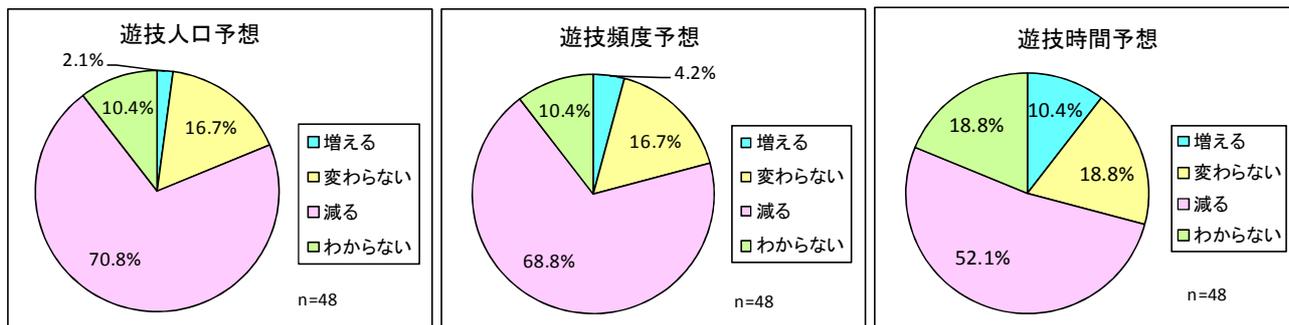
【事業者規模別】



「全般的業況」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3店舗)が▲35.0ポイント(前回比7.1良化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲26.7ポイント(前回比16.1良化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲14.8ポイント(前回比14.4良化)となり、全事業者で改善が見られる。3カ月後の見通しについては、大規模事業者はプラス圏まで回復する一方で、小規模・中規模事業者は悪化を見込んでいる。

調査結果ダイジェスト(2)「パチスロの出玉率試験の変更」

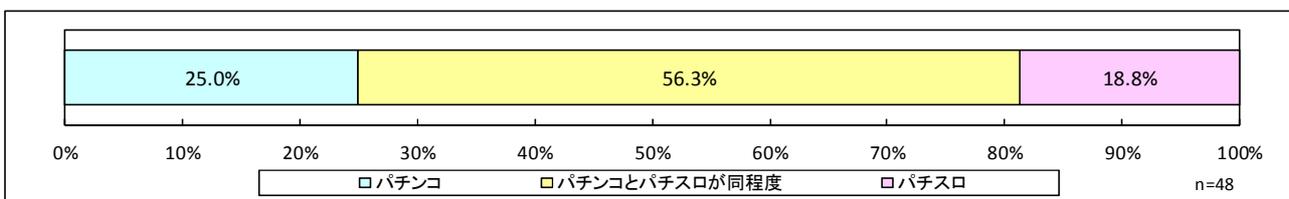
■試験変更にもなう遊技の変化:「人口」「頻度」「時間」いずれも「減る」が最多



上図は、パチスロ型式試験について、9月16日以降の新試験方法によって射幸性の下がったパチスロ機だけになった場合、パチスロの稼働にどのような影響があるかについて質問した結果を示している。

新試験方法によるパチスロ機だけになった場合、「遊技人口」「遊技頻度」「遊技時間」はいずれも「減る」と回答した割合がもっとも多く、それぞれ70.8%、68.8%、52.1%と半数以上を占める結果となった。

■現行 AT 機・ART 機の遊技客の受け皿:「パチンコ・パチスロが同程度」5 割超



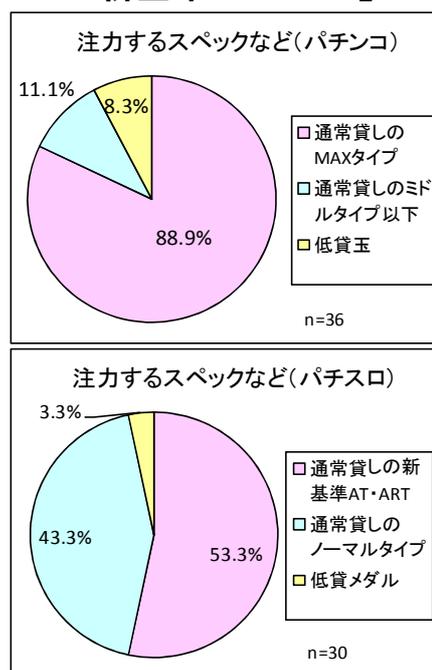
上図は、9月16日以降の新試験方法によるパチスロ機だけになった場合、現在のAT機やART機の遊技客の受け皿をどのように考えているかについて質問した結果である。結果として、現行のAT機とART機の遊技客の受け皿は「パチンコとパチスロが同程度」がもっとも多く56.3%となった。ついで、「パチンコ」が25.0%、「パチスロ」が18.8%となり、パチンコへのシフトを考えていることがわかった。

■注力するスペック:パチンコ「MAXタイプ」、パチスロ「新基準AT・ART」

右図は、上記の質問結果のなかで、力を入れたいスペックについて質問した結果である。

パチンコは「通常貸しのMAXタイプ」がもっとも多く、88.9%という結果になった。ついで「通常貸しのミドルタイプ以下」(11.1%)、「低貸玉」(8.3%)となっており、射幸性の高さで類似するスペックに注力することがうかがえる。

パチスロは「通常貸しの新基準AT・ART」がもっとも多く55.3%となり、ついで「通常貸しのノーマルタイプ」(43.3%)、「低貸メダル」(3.3%)という結果になった。射幸性は下がるものの「通常貸しの新基準AT・ART」への注力が5割以上占める一方で、「通常貸しのノーマルタイプ」が4割以上を占めている。



主要指標数値(DI 値)結果

■稼働状況(パチスロ)は悪化、資本投資気運(遊技機)はやや回復

「全般的業況」は、前回から 11.8 良化して▲24.2 ポイントとなったが、3 カ月後の見通しでは▲23.0 ポイントと横ばいで推移する見込みとなっている。

「稼働状況」は、パチンコが前回比▲3.3 悪化の▲34.4 ポイント、パチスロは前回比 11.4 悪化の▲30.6 ポイントとなった。3 カ月後における稼働状況の見通しは、パチンコ▲30.6 ポイント、パチスロ▲31.1 ポイントとなり、明るい見通しは立っていない。

「資本投資気運(遊技機)」は▲10.6 ポイント(前回比 6.3 良化)まで回復し、3 カ月後は▲10.6 ポイントと横ばいで推移する見通しとなっている。「資本投資気運(その他設備)」は▲6.4 ポイント(前回比 9.8 悪化)となり、3 カ月後の見通しでは▲2.2 ポイントまで良化すると見込まれている。

「不足感(雇用人員)」については、前回の▲48.6 ポイントから▲50.8 ポイントへと悪化、3 カ月後の見通しは▲52.5 ポイントとさらに厳しい状況が見込まれる。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

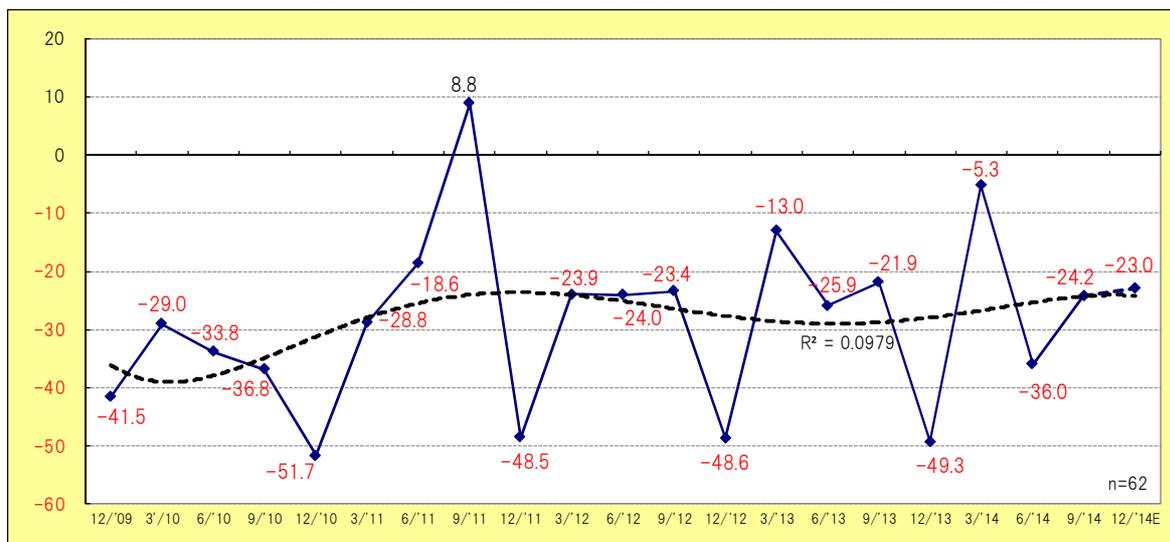
項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況				現状は雨に良化 見通しは引き続き雨
	-36.0	-24.2	-23.0	
2. 稼働状況 (パチンコ)				現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
	-31.1	-34.4	-30.6	
3. 稼働状況 (パチスロ)				現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
	-19.2	-30.6	-31.1	
4. 資本投資気運 (遊技機)				現状は引き続き雨 見通しも引き続き雨
	-16.9	-10.6	-10.6	
5. 資本投資気運 (その他設備)				現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
	3.4	-6.4	-2.2	
6. 不足感 (営業用設備)				現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
	-4.0	-4.9	-3.2	
7. 不足感 (雇用人員)				現状は引き続き雷雨 見通しは引き続き雷雨
	-48.6	-50.8	-52.5	

凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体) 注:2014年12月期(12/'14E)の数値は見通し

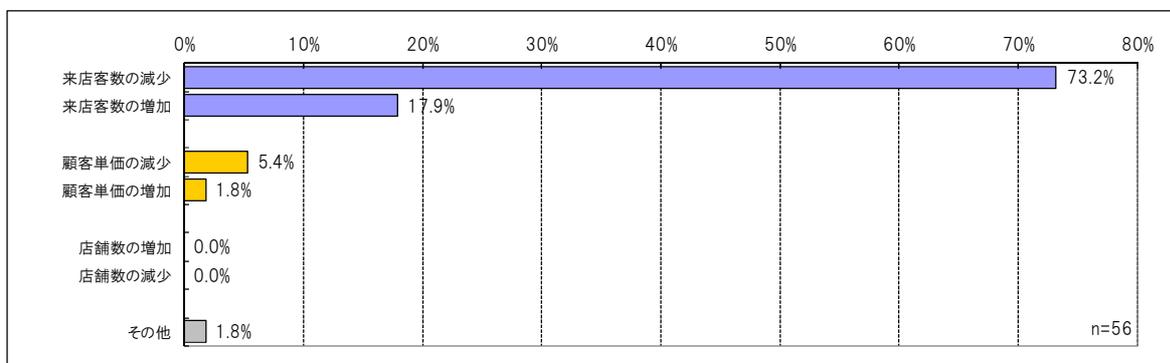
■全般的業況:前回より回復するも、見通しはマイナス推移の見込み



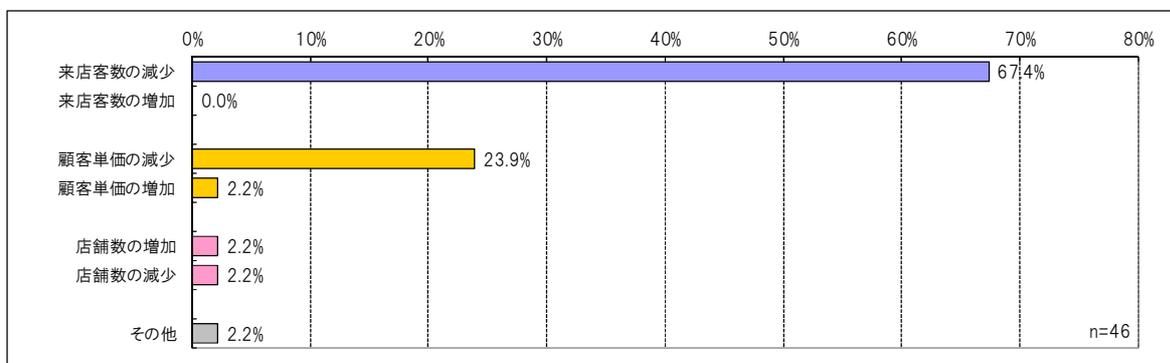
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲36.0ポイントから▲24.2ポイント(前回比11.8良化)まで回復しており、12期連続でマイナス推移という結果になった。3カ月後の見通しは▲23.0ポイントとマイナス圏で横這い推移すると見込まれている。

■全般的業況の判断理由:業況低迷の主要因は「客数減少」

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)

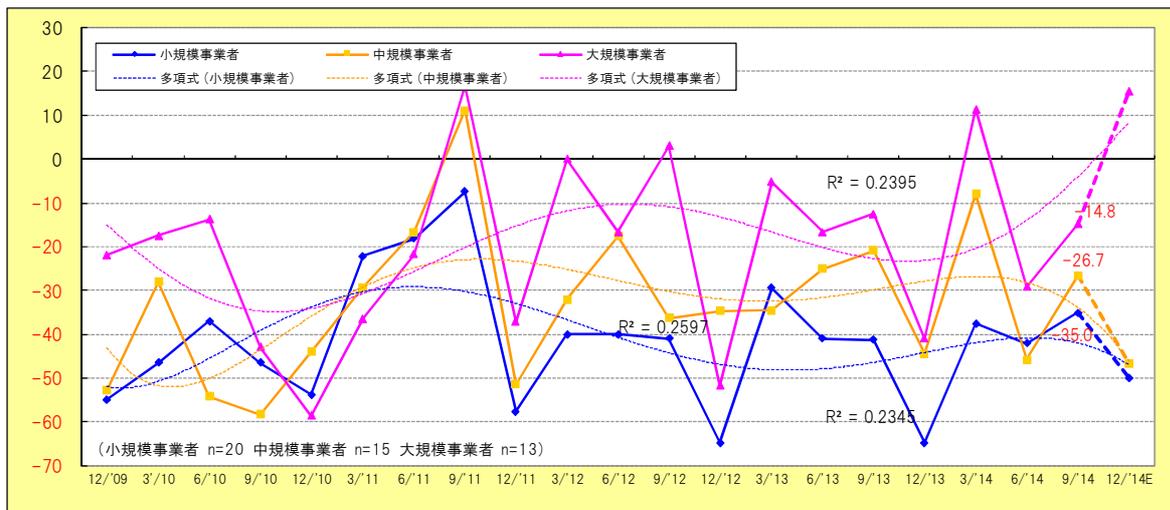


【先ゆき(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



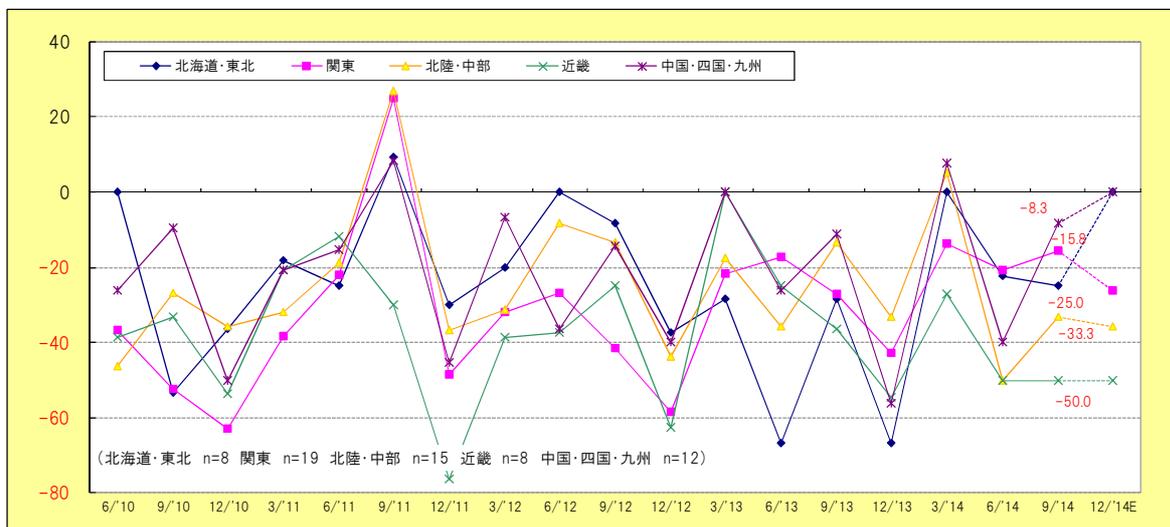
全般的業況(規模別・地域別) 注: 2014年12月期(12/14E)の数値は見通し

■全般的業況(規模別): 事業者規模にかかわらず業況は改善



「全般的業況」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3店舗)が▲35.0ポイント(前回比7.1良化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲26.7ポイント(前回比16.1良化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲14.8ポイント(前回比14.4良化)となり、全事業者で改善が見られる。3カ月後の見通しについては、大規模事業者はプラス圏まで回復すると見込んでいるが、小規模・中規模事業者は悪化を見込んでいる。

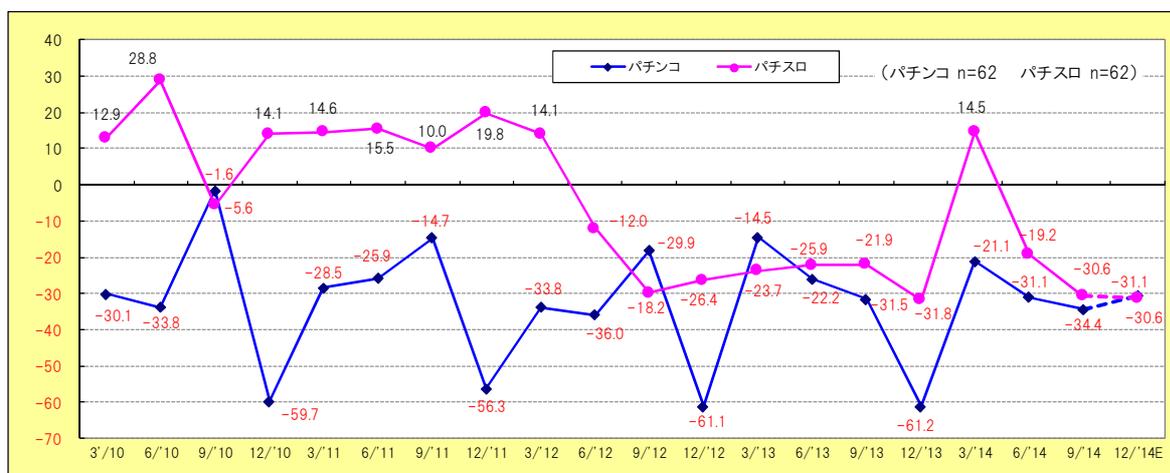
■全般的業況(地域別): 地域によって回復状況にバラツキあり



「全般的業況」は回復していたが、地域別の「全般的業況」の回復にはバラツキがあった。なかでも、近畿は前回と変わらず▲50.0ポイントと低く推移する一方で、中国・四国・九州は▲8.3ポイント(前回比31.7良化)と大幅に回復している。3カ月後の見通しは、中国・四国・九州と北海道・東北では±0まで回復する一方で、関東、北陸・中部、近畿では回復が見込まれていない状況にある。

稼働状況(事業者全体) 注:2014年12月期(12/'14E)の数値は見通し

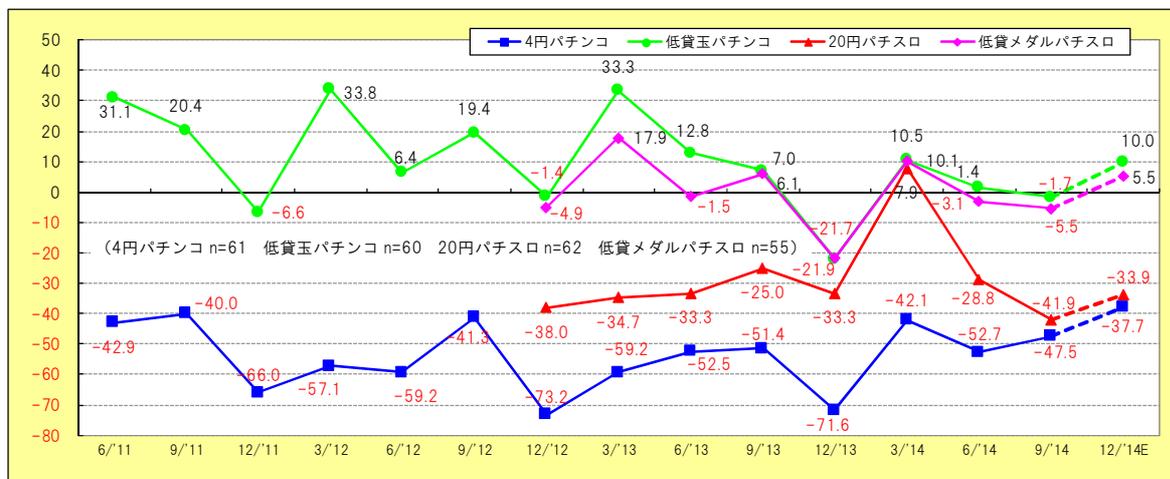
■ 稼働状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ、パチスロ共に悪化



パチンコ稼働状況は▲34.4ポイント(前回比3.3悪化)と悪化しており、3カ月後の見通しは▲30.6ポイントとやや回復するものの大幅な改善は見られない。

パチスロ稼働状況は▲30.6ポイント(前回比11.4悪化)と悪化し、2期連続で落ち込むこととなった。3カ月後の見通しは▲31.1ポイントと、低い水準で推移すると見込まれる。

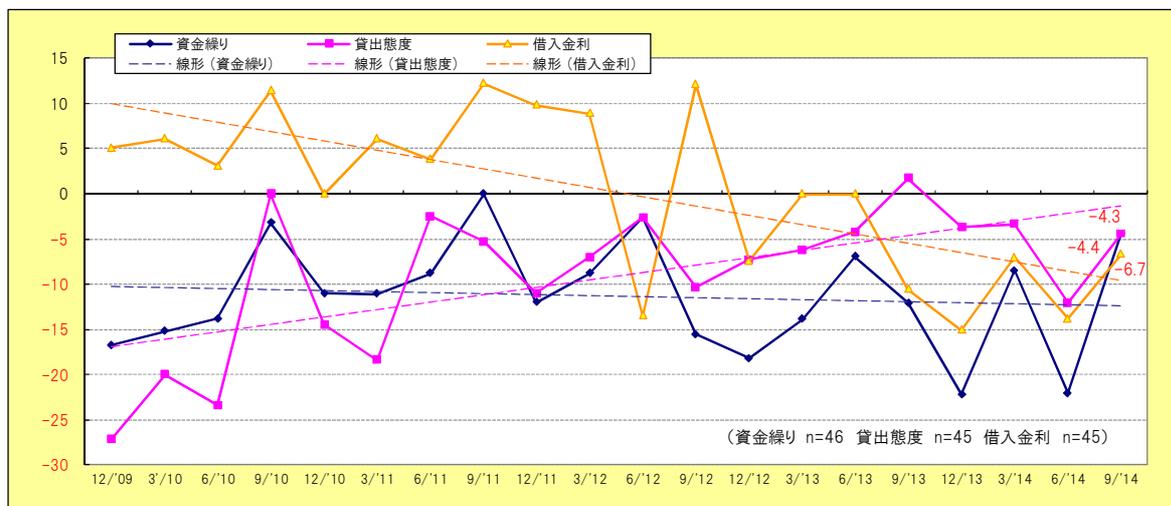
■ 稼働状況(貸玉料金別):4円パチンコはやや回復も、それ以外は悪化



稼働状況を貸玉(メダル)料金別にみていくと、4円パチンコは▲47.5ポイント(前回比5.2良化)となり、3カ月後は▲37.7ポイントまでさらに回復すると見込んでいる。20円パチスロの稼働状況は▲41.9ポイント(前回比13.1悪化)と悪化しているものの、3カ月後は▲33.9ポイントまで回復すると見込まれる。

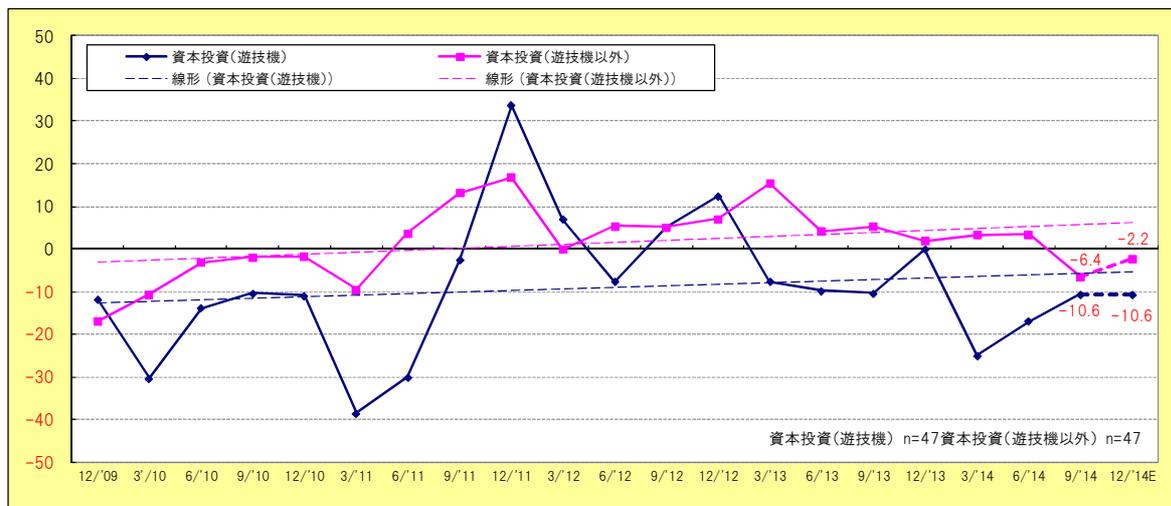
低貸玉(メダル)料金においては、低貸玉パチンコが▲1.7ポイント(前回比3.1悪化)、低貸メダルパチスロも▲5.5ポイント(前回比2.4悪化)とどちらもやや悪化しているものの、3カ月後の見通しでは、低貸玉は+10.0ポイント、低貸メダルは+5.5ポイントとなり、どちらもプラスへ転じると考えられている。

■ 企業金融: 資金繰り・貸出態度・借入金利はいずれも良化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲4.3ポイント(前回比17.7良化)、「借入金利」が▲4.4ポイント(前回比7.7良化)、「借入金利」▲6.7ポイント(前回比7.1良化)と、企業金融に関する全ての項目で良化が見られた。

■ 資本投資気運: 遊技機以外の投資気運が14期振りにマイナスへ転落

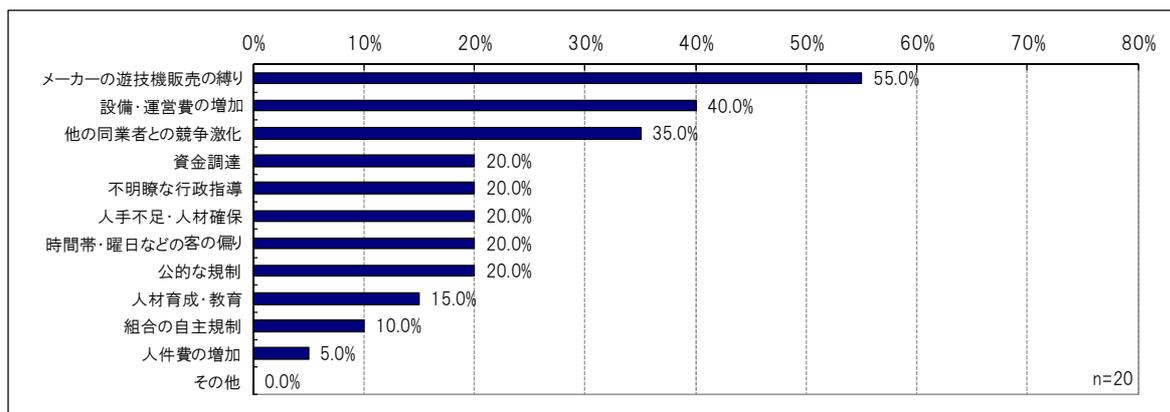


今回の「資本投資気運(遊技機)」は、前回の▲16.9ポイントから▲10.6ポイントまで良化した。3カ月後の見通しも、▲10.6ポイントと横這いで推移することが見込まれている。

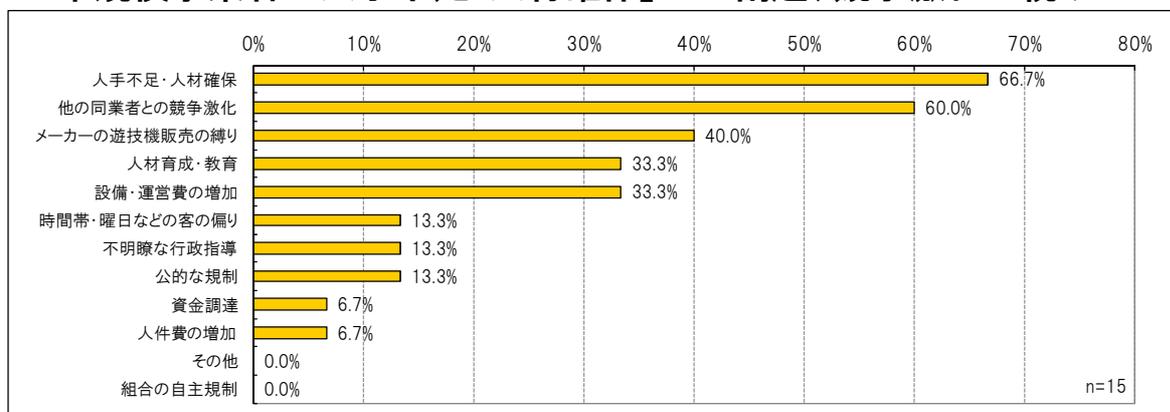
一方、「資本投資気運(遊技機以外の設備)」は、▲6.4ポイント(前回比9.8悪化)と14期振りにマイナスへ転落した。3カ月後の見通しは▲2.2ポイントと若干回復するものの、プラス圏までの回復は見込んでいない。

経営上の課題(事業者規模別) 注: 複数回答

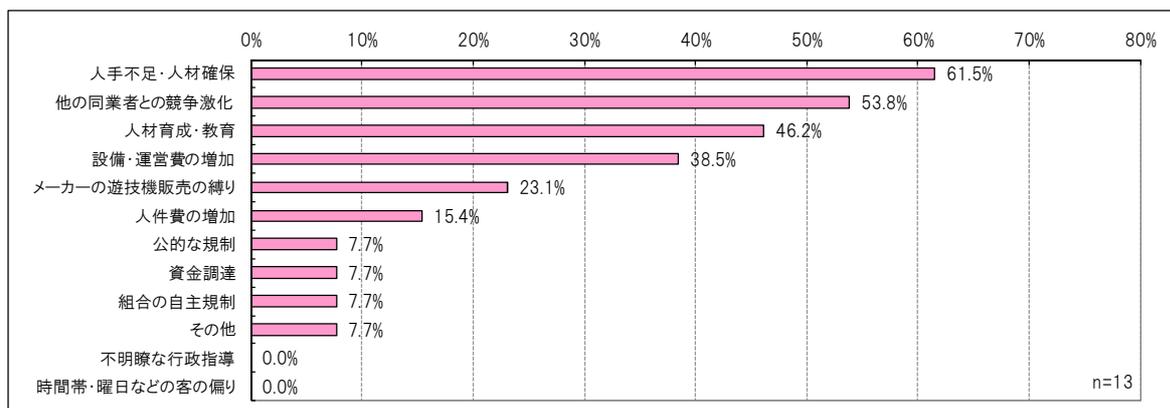
■ 小規模事業者:「メーカーの遊技機販売縛り」が5割超



■ 中規模事業者:「人手不足・人材確保」が6割超、競争激化が続く



■ 大規模事業者:「人手不足・人材確保」が6割、競争激化は5割超

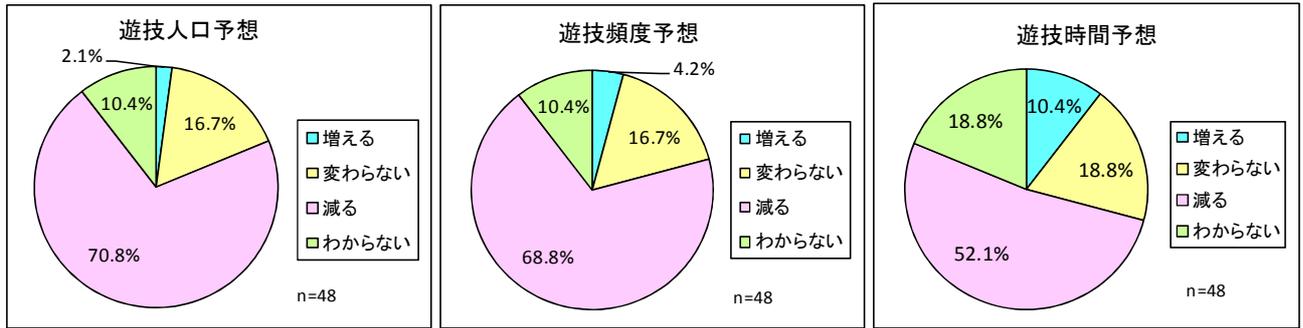


「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3店舗)においては「メーカーの遊技機販売の縛り」(55.0%)を最大の課題となった。中規模事業者(4~10店舗)と大規模事業者(11店舗以上)においては、「人手不足・人材確保」を一番の課題として挙げており、それぞれ66.7%、61.5%となった。

また、中規模事業者と大規模事業者では「他の同業者との競争激化」を同じく2番目の課題としており、それぞれ60.0%、53.8%となった。小規模事業者では35.0%と3番目に多い課題となった。

トレンド・ウォッチ「パチスロの出玉率試験の変更」

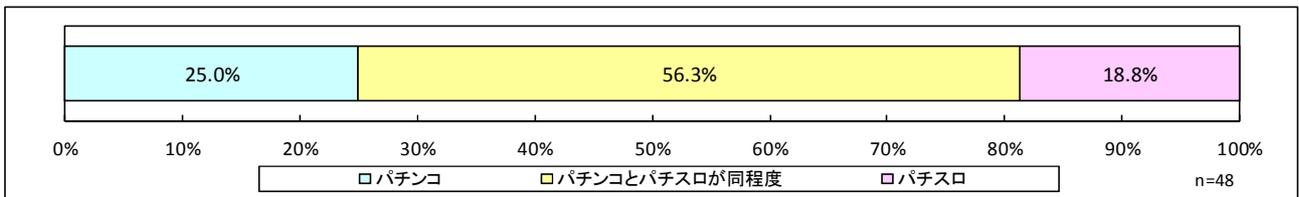
■試験変更にもなう遊技の変化:「人口」「頻度」「時間」いずれも「減る」が最多



上図は、パチスロ型式試験について、9月16日以降の新試験方法によって射幸性の下がったパチスロ機だけになった場合、パチスロの稼働にどのような影響があるかについて質問した結果を示している。

新試験方法によるパチスロ機だけになった場合、「遊技人口」「遊技頻度」「遊技時間」はいずれも「減る」と回答した割合がもっとも多く、それぞれ70.8%、68.8%、52.1%と半数以上を占める結果となった。

■現行 AT 機・ART 機の遊技客の受け皿:「パチンコ・パチスロが同程度」5 割超



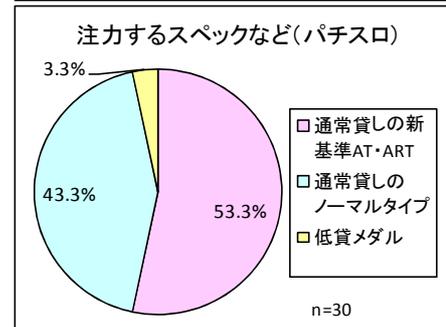
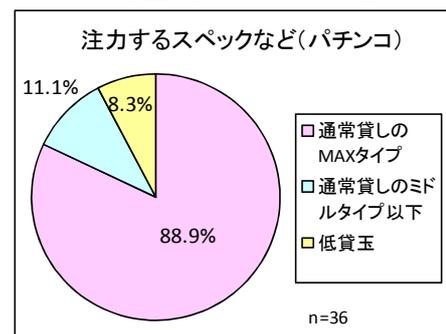
上図は、9月16日以降の新試験方法によるパチスロ機だけになった場合、現在のAT機やART機の遊技客の受け皿をどのように考えているかについて質問した結果である。結果として、現行のAT機とART機の遊技客の受け皿は「パチンコとパチスロが同程度」がもっとも多く56.3%となった。ついで、「パチンコ」が25.0%、「パチスロ」が18.8%となり、パチンコへのシフトが見られる。

■注力するスペック:パチンコ「MAXタイプ」、パチスロ「新基準AT・ART」

右図は、上記の質問結果のなかで、力を入れたいスペックについて質問した結果である。

パチンコは「通常貸しのMAXタイプ」がもっとも多く、88.9%という結果になった。ついで「通常貸しのミドルタイプ以下」(11.1%)、「低貸玉」(8.3%)となっており、射幸性の高さで類似するスペックに注力することがうかがえる。

パチスロは「通常貸しの新基準AT・ART」がもっとも多く55.3%となり、ついで「通常貸しのノーマルタイプ」(43.3%)、「低貸メダル」(3.3%)という結果になった。射幸性は下がるものの「通常貸しの新基準AT・ART」への注力が5割以上占める一方で、「通常貸しのノーマルタイプ」が4割以上を占めている。



コメント(自由回答)抜粋

■ パチスロの最低出玉率の試験変更、および現状・先行きに対するご意見

パチスロの最低出玉率の試験変更に関するコメント

- ◆一定期間厳しい時期があるとは思いますが、業界全体としてはよかったのではないかと考えています。現在のパチスロ機はプレイヤーが離れていくのが当然の機械性能(吸い込みは4号機並み・出玉性能は著しく劣り、プレイヤーは事故待ち状態)で、続けて遊技する魅力を感じなくなっています。ホール側が売り上げを重視し、メーカー側はそのニーズに応えた結果からこのように状況を作り出していると思います。今後はメーカーを含めてとにかく業界全体が十分に反省し、本来の「遊技する魅力」を整備し考えていく必要があると思います。(関東・小規模事業者)
- ◆営業数値だけで考えると、今回の試験方法の変更は厳しいと思うが、このままパチンコ業界が続いていくとは思えない。今までにも幾度となく同様の荒波を超えてきたが、やはり同じことを繰り返し、回復にはそれだけ時間がかかる。今回の試験変更は業界全体が基本に戻れるよい機会であり、業界関係者誰もが必要だと感じていたことでもあり、プラスに受け止めている。(関東・中規模事業者)
- ◆元々、パチスロはサブ基板に出玉制御を持たせること自体が禁止されているはずなのに、相変わらず出玉をコントロールしている現状を正した方向に持って行った良いことだと感じている。ホールとしてはダメなこと(サブ基板制御の出玉管理)をメーカー側が行っていることに疑念があっても購入し運用することが同罪であると感じて欲しくない。これはあくまでもメーカー側の責任である。現存の機械が店舗から撤去されることは望んでおらず、可能な限り認定等により長く運用しプレイヤーに応じていけることを希望する。形式の変更ですべてが撤去されるような方向にならないように訴えていきたい。(関東・中規模事業者)
- ◆メーカー側が新試験法式に移行しても大丈夫なように新しいモノを開発すると思う。来春頃には出来上がるのではないか。(東北・小規模事業者)
- ◆パチスロの試験変更による機種性能の劣化の影響は大きいと思います。パチスロコーナーの柱をジャグラーにして安定的な営業を行う必要があると感じます。(中国・小規模事業者)
- ◆試験の変更内容はプレイヤーが喜ぶ内容ではないと思います。パチスロは見返りがなければ誰もやりません。(近畿・中規模事業者)
- ◆今回の試験方法の変更について、「本質」をどこに見るかが今後の業界のあり方に大きく影響を及ぼすのではないかと感じています。単純にパチスロの射幸性への規制であれば「内規変更」程度の認識ですむのでしょうか、IR法成立にともない業界のあり方自体に問題喚起されれば、命取りになるのではないのでしょうか。(近畿・小規模事業者)

現状・先行きに関するコメント

- ◆パチンコやパチスロは、ヘビープレイヤーの資金が続く限りは低迷することはないと思いますが、低貸パチンコ・パチスロを見る限り客単価が減少することで入替費用の見直しをすることが大事になってくると思います。その他にも人件費や時給等を下げるのではなく少ない人数での店内配置や担当の見直しが必要になっています。(関東・小規模事業者)
- ◆現状、特に業界人自体すらも遊技頻度が減少していることが全てを物語っていると思います。とにかくプレイヤーの存在を見据えた機械作りをメーカーにはお願いしたい。回らないからおもしろくない、それだけではないはず。(関東・小規模事業者)
- ◆最近(特に牙狼あたりから)またメーカーの縛りが増えてきたように思います。業界の維持と発展を考えると、いち早く正していくべきだと思います。(九州・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-42.1	-35.0	-50.0	-45.8	-26.7	-46.7	-29.2	-14.8	15.4	-36.0	-24.2	-23.0
稼働状況(パチンコ)	-33.3	-55.0	-55.0	-37.5	-26.7	-60.0	-33.3	-23.1	7.4	-31.1	-34.4	-30.6
稼働状況(パチスロ)	-22.2	-55.0	-65.0	-30.4	-26.7	-53.3	-12.5	-14.8	11.5	-19.2	-30.6	-31.1
資本投資気運(遊技機)	0.0	-20.0	-25.0	-21.7	0.0	-20.0	-33.3	-8.3	25.0	-16.9	-10.6	-10.6
資本投資気運(その他設備)	10.5	-20.0	-26.3	4.3	6.7	14.3	0.0	0.0	16.7	3.4	-6.4	-2.2
不足感(営業用設備)	-15.8	0.0	5.0	-4.2	-13.3	-13.3	12.5	-7.7	-3.7	-4.0	-4.9	-3.2
不足感(雇用人員)	-22.2	-20.0	-35.0	-41.7	-73.3	-66.7	-66.7	-65.4	-61.5	-48.6	-50.8	-52.5

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-22.2	-25.0	0.0	-20.8	-15.8	-26.3	-50.0	-33.3	-35.7
稼働状況(パチンコ)	-22.2	-12.5	0.0	-25.0	-42.1	-47.4	-35.0	-42.9	-40.0
稼働状況(パチスロ)	-11.1	-25.0	-25.0	-17.4	-36.8	-50.0	-30.0	-40.0	-33.3
不足感(営業用設備)	-11.1	12.5	12.5	-4.2	-5.3	-10.5	5.0	0.0	0.0
不足感(雇用人員)	-33.3	-50.0	-37.5	-52.2	-52.6	-52.6	-50.0	-64.3	-78.6
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-50.0	-50.0	-50.0	-40.0	-8.3	0.0	-36.0	-24.2	-23.0
稼働状況(パチンコ)	-33.3	-50.0	-37.5	-44.4	-16.7	-8.3	-31.1	-34.4	-30.6
稼働状況(パチスロ)	-16.7	-25.0	-37.5	-11.1	-16.7	0.0	-19.2	-30.6	-31.1
不足感(営業用設備)	0.0	-12.5	0.0	-20.0	-16.7	-8.3	-4.0	-4.9	-3.2
不足感(雇用人員)	-58.3	-12.5	-25.0	-40.0	-58.3	-50.0	-48.6	-50.8	-52.5

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-25.0	-36.8	-10.5	-16.7	-17.4	-13.3	15.0	-13.3	8.3	-8.5	-22.0	-4.3
貸出態度	-6.3	-22.2	-16.7	-16.7	-8.7	-6.7	15.0	-6.7	8.3	-3.4	-12.1	-4.4
借入金利	-13.3	-22.2	-11.1	0.0	-17.4	6.7	-10.5	0.0	-16.7	-7.0	-13.8	-6.7

* 全般的業況 n=62、稼働状況(パチンコ)n=62、稼働状況(パチスロ)n=62、資本投資気運(遊技機)n=47、資本投資気運(その他設備)n=47、不足感(営業用設備)n=61、不足感(雇用人員)n=62、資金繰りn=46、貸出態度n=45、借入金利n=45

* 小規模事業者=3店舗以下、中規模事業者=4~10店舗、大規模事業者=11店舗以上

第 58 回調査質問票

F1. 貴社が保有されている全営業店舗数を回答してください。(__店舗)

F2. 貴社が営業されている店舗は以下のどの地域に属しますか？ 該当する地域すべてについて、問 1 から問 5 までそれぞれ回答してください。

A. 北海道 B. 東北(青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県) C. 関東(茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県) D. 北陸(新潟県 富山県 石川県 福井県) E. 中部(山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県) F. 近畿(滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県) G. 中国(鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県) H. 4 国(徳島県 香川県 愛媛県 高知県) I. 九州(福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県)

I. 以下の設問には、保有される店舗が属する F2. で示した地域ごとに回答してください。

問 1. 【業況】貴社における、収益を中心に売上や粗利といった全般的な業況について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 1-1. 問 1 で業況判断をした理由について、下記項目から何が最も影響しているのか、『現況』と『先行き』それぞれあてはまる項目を記号で回答してください。(回答用紙に記号を1つだけ記入してください)

①現況(現在を含めたここ 1 カ月)の業況判断の理由

②先行き(3 カ月後まで)の業況判断の理由

a. 店舗数の増加(増台含む) b. 来店客数の増加 c. 顧客単価の増加 d. 店舗数の減少(減台含む) e. 来店客数の減少 f. 顧客単価の減少 g. その他

問 2. 【営業用設備】貴社の日常的営業活動において、遊技機を中心とした営業用設備(券売機、計数機などを含む。但し定期的な点検・修繕などによる一時的不足は除く)について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 3. 【雇用】貴社の雇用人員について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 4. 【稼働状況/パチンコ】貴社における、パチンコ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、4 円パチンコや低貸玉パチンコを含めたパチンコ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-1. 【4 円パチンコ】※ここでは、4 円パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-2. 【低貸玉パチンコ】※ここでは、低貸玉パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

問 5. 【稼働状況/パチスロ】貴社における、パチスロ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、20 円パチスロや低貸メダルを含めたパチスロ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 カ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 5-1.【20 円パチスロ】※ここでは、20 円パチスロの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3 カ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

付問 5-2.【低貸メダルパチスロ】※ここでは、低貸メダルの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3 カ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

II. 以下の設問は、保有店舗全体について企業単位で回答してください。

問 6.【資金繰り】貴社における資金繰りについて。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 楽である b. さほど苦しくない c. 苦しい 〕

問 7.【貸出態度】貴社に対する金融機関の貸出態度について。

①「現況(現在を含めたここ 1 カ月)」では〔 a. 緩い b. さほど厳しくない c. 厳しい 〕

問 8.【借入金利】貴社における金融機関の借入金利変化について。

①「(3 カ月前に比べた)現在の変化」では〔 a. 上昇 b. 変わらない c. 低下 〕

問 9.【資本投資/遊技機】貴社において、遊技機に対する資本投資の変化について。

①「(3 カ月前に比べた)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3 カ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 10.【資本投資/設備】貴社において、遊技機以外の設備に対する資本投資の変化について。

①「(3 カ月前に比べた)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3 カ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 11.【経営上の課題】貴社における経営上の課題として重要なもの上位 3 つを選んで回答欄に記号でお答えください。

- a. 人件費の増加 b. 設備・運営費の増加 c. 人手不足・人材確保 d. 人材育成・教育 e. 資金調達 f. メーカーの遊技機販売の縛り g. 公的な規制 h. 不明瞭な行政指導 i. 組合の自主規制 j. 他の同業者との競争激化 k. 時間帯・曜日などの客の偏り l. その他()

III. トレンド・ウォッチ ～「パチスロ最低出玉率の試験変更について」～

保通協のパチスロ型式試験について、出玉試験の下限(出玉率 55%)試験を行う場合、9 月 16 日以降の持ち込み分から最低出玉率(全て順押し・AT を無視)での打ち方で試験することが警察庁より伝えられました。今回はパチスロ型式試験の変更後の影響や今後の営業について伺います。

※遊技機の性能は、日電協から 9 月 9 日に通知された内容から以下を想定します。

1)ノーマルタイプ:変更はなし

2)ART 機:ボーナス+ART の仕様で、純増枚数は 1.5 枚程度。ほぼ現状維持

3)AT:純増枚数 2.0 枚は可能だが、通常中の玉持ちがよくなる分、大当たり確率や出メダル性能が低くなる

問 12. 9 月 16 日以降の新試験方法によるパチスロ機だけになった場合、パチスロの稼働にどのような影響があると考えますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

①遊技人口: (a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない)

②遊技頻度: (a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない)

③遊技時間: (a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない)

問 13. 9 月 16 日以降の新試験方法によるパチスロ機だけになった場合、現在の AT 機や ART 機の遊技客の受け皿は、パチンコとパチスロのどちらを考えていますか。また、そのなかで力を入れたいスペックなどは何ですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

① 現在の AT 機や ART 機の受け皿:(a. パチンコ b. パチスロ c. パチンコとパチスロが同程度)

② a または c を選んだ方:(a. 通常貸しの MAX タイプ b. 通常貸しのミドルタイプ以下 c. 低貸玉)

b または c を選んだ方:(a. 通常貸しの新基準 AT・ART b. 通常貸しのノーマルタイプ c. 低貸メダル)



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-5 石川興産ビル4F
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2014 Entertainment Business Institute. All rights reserved.